

研究期間：広島大学

研究課題名	日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会： 本邦における卵巣癌（上皮性腫瘍）に対する妊孕性温存治療に関する実態調査
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹
研究期間	2018年12月18日（倫理委員会承認後）～ 2020年3月31日
対象者	2009年1月～2013年12月の間に、広島大学病院産科婦人科で手術が行われたAYA世代（15～39歳）の卵巣癌（上皮性腫瘍）に対し妊孕性温存を目的とした治療を施行された患者。
意義・目的	本研究は小児期および通常成人女性の谷間の世代である思春期および若年成人世代であるAYA世代に着目し、AYA世代における卵巣癌の治療前情報、治療方法、妊孕性温存方法、治療後妊娠転機等について調査することを目的としています。最終的には、本研究での解析結果を踏まえ、この世代の特徴に合わせた診断や治療方法の選択を目指すものです。
方法	本研究は、卵巣癌（上皮性腫瘍）手術を受け妊孕性温存を目的とした治療を行った患者さんのカルテより、治療前情報、治療方法、妊孕性温存方法、治療後妊娠転機等を中心とした情報を収集します。取得した研究対象者の情報を日本産科婦人科学会腫瘍委員会「本邦における卵巣癌に対する妊孕性温存治療に関する実態調査」へ送付し、詳しい解析を行います。
共同研究機関	日本産科婦人科学会専攻医指導施設（約630施設） 聖マリアンナ医科大学産婦人科学（研究責任者 教授 鈴木直）が統括責任者です。
試料・情報の管理責任者	当院 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 産科婦人科学 教授 工藤 美樹 提供先 聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授 鈴木 直
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5262 広島大学病院 産科婦人科 平田 英司、古宇 家正